

【陸上競技】

1 参加規程

(1) 種目

男子 (18 種目) 学年種目：1 年 100m・2 年 100m・3 年 100m
1 年 1500m・2 年 1500m・3 年 1500m

共通種目：200m・400m・800m・3000m・110mH・4×100m リレー
走高跳・棒高跳・走幅跳・三段跳・砲丸投・四種競技

女子 (14 種目) 学年種目：1 年 100m・2 年 100m・3 年 100m
1 年 1500m・2 年 1500m・3 年 1500m

共通種目：200m・800m・100mH・4×100m リレー
走高跳・走幅跳・砲丸投・四種競技

(2) 資格

各県 1 種目 4 名とする。ただし、リレーは各県 2 チームとする。

(3) 制限

1 人の出場は 2 種目以内とする。ただし、リレーは除く。

2 競技規則

(1) 競走競技の予選通過は、各組 3 着 + 2 とする。

ただし、1500m・3000m は、予選を行わず 16 名で決勝を行う。

(2) 得点は、1 位 8 点・…・8 位 1 点とし、学校対抗とする。

(3) ナンバーカードは、各県に配番された番号を明記し、各県で準備する。

香川 (オリーブ) 1～150 徳島 (イエロー) 201～350

高知 (ピンク) 401～550 愛媛 (オレンジ) 601～750



↑ ※ ナンバーカードの割り振りは男子から行い、男女込みの通し番号とする。

16 ※ ナンバーカード下部に県名を入れる。

cm ※ ナンバーカードは、胸と背に確実に付けること。ただし、跳躍種目については、胸か背のいずれかでよい。

← 24cm →

(4) スパイクのピンは、全天候用の 9 mm 以下とする。(走高跳は 12 mm 以下)

(5) 招集所において、競技で使用するシューズの靴底の厚さを計測する。世界陸上競技連盟 (WA) 規則第 143 条 (テクニカルルール第 5 条=TR5) を確認し、規定内のシューズを履いて出場すること。規定外のシューズを履いて出場することはできない。

(6) 申込は各県委員長がとりまとめ、申込一覧表 (様式 A) と学校 (チーム) 別申込表 (様式 B) 及び県中学 (最高) 記録一覧表 (様式 C) をそろえて、開催県委員長に申し込むこと。

3 競技方法

学校 (チーム) 対抗及び種目別選手権

4 競技日程

〈第1日目〉

トラック競技				
No	性別	種目		時刻
1	女	800m	予選	13:00
2	男	800m	予選	13:20
3	女	四種100mH	2組	13:50
4	男	四種110mH	2組	14:10
5	女	200m	予選	14:30
6	男	200m	予選	14:45
7	女	1年1500m	決勝	15:00
8	男	1年1500m	決勝	15:15
9	男	3000m	決勝	15:30
10	女	200m	決勝	15:50
11	男	200m	決勝	16:00
12	女	800m	決勝	16:10
13	男	800m	決勝	16:20

フィールド競技				
No	性別	種目		時刻
1	男	走高跳	決勝	13:00
2	女	走幅跳	決勝	13:00
3	女	砲丸投	決勝	13:00
4	女	四種走高跳		15:00
5	男	走幅跳	決勝	15:00
6	男	四種砲丸投		15:30

開会式	実施しない
-----	-------

〈第2日目〉

トラック競技				
No	性別	種目		時刻
1	女	100mH	予選	9:30
2	男	110mH	予選	9:45
3	男	400m	予選	10:10
4	女	1年100m	予選	10:25
5	女	2年100m	予選	10:35
6	女	3年100m	予選	10:45
7	男	1年100m	予選	10:55
8	男	2年100m	予選	11:05
9	男	3年100m	予選	11:15
10	女	100mH	決勝	11:30
11	男	110mH	決勝	11:40
12	女	1年100m	決勝	11:50
13	女	2年100m	決勝	12:00
14	女	3年100m	決勝	12:10
15	男	1年100m	決勝	12:20
16	男	2年100m	決勝	12:30
17	男	3年100m	決勝	12:40
18	女	四種200m	2組	12:50
19	男	四種400m	2組	13:00
20	男	400m	決勝	13:10
21	女	2年1500m	決勝	13:30
22	女	3年1500m	決勝	13:40
23	男	2年1500m	決勝	13:50
24	男	3年1500m	決勝	14:00
25	女	4×100mR	決勝	14:20
26	男	4×100mR	決勝	14:30

フィールド競技				
No	性別	種目		時刻
1	男	四種走高跳		9:30
2	女	四種砲丸投		9:30
3	男	棒高跳	決勝	10:00
4	女	走高跳	決勝	11:30
5	男	三段跳	決勝	12:00
6	男	砲丸投	決勝	12:00

閉会式	実施しない
-----	-------

【水 泳 競 技】

1 参加規程

(1) 種 目

種 目	男 子	女 子
自 由 形	50 100 200 400 1500	50 100 200 400 800
平 泳 ぎ	100 200	100 200
バ タ フ ラ イ	100 200	100 200
背 泳 ぎ	100 200	100 200
個 人 メ ド レ ー	200 400	200 400
メ ド レ ー リ レ ー	4×100	4×100
リ レ ー	4×100	4×100

(2) 資 格

各県1種目2名，リレーは2チームとする。

(3) 制 限

1種目2名，1人2種目以内。ただし，リレーは除く。

2 競技規則

(1) レースは，すべて決勝とする。

(2) スタートは，1回とする。

(3) 優勝団体の決定法

種目ごとに1位8点・2位7点・3位6点……………8位1点（ただし，リレー種目は，1位16点・2位14点・3位12点……………8位2点）とし，得点の順にしたがって決定する。総合得点と同じ場合は，次の順にしたがって決定する。

- ① リレーによる得点の多い団体
- ② 入賞者の多い団体（ただし，リレーは4人とする。）
- ③ 1位の数の多い団体
- ④ 2位の数の多い団体（以下，3位・4位…………の順で）

3 競技方法

団体対抗及び種目別選手権

4 競技日程

開始式 9:00~

1	女子	400m	個人メドレー	決勝	9:20
2	男子	400m	個人メドレー	決勝	
3	女子	800m	自由形	決勝	9:40
4	男子	1500m	自由形	決勝	9:55
5	女子	50m	自由形	決勝	10:20
6	男子	50m	自由形	決勝	
7	女子	200m	自由形	決勝	10:30
8	男子	200m	自由形	決勝	
9	女子	200m	バタフライ	決勝	10:45
10	男子	200m	バタフライ	決勝	
11	女子	200m	背泳ぎ	決勝	11:00
12	男子	200m	背泳ぎ	決勝	
13	女子	200m	平泳ぎ	決勝	11:15
14	男子	200m	平泳ぎ	決勝	
15	女子	4×100m	リレー	決勝	11:40
16	男子	4×100m	リレー	決勝	

【昼食】

17	女子	100m	バタフライ	決勝	12:50
18	男子	100m	バタフライ	決勝	
19	女子	100m	自由形	決勝	13:00
20	男子	100m	自由形	決勝	
21	女子	100m	背泳ぎ	決勝	13:10
22	男子	100m	背泳ぎ	決勝	
23	女子	100m	平泳ぎ	決勝	13:20
24	男子	100m	平泳ぎ	決勝	
25	女子	200m	個人メドレー	決勝	13:30
26	男子	200m	個人メドレー	決勝	
27	女子	400m	自由形	決勝	13:45
28	男子	400m	自由形	決勝	
29	女子	4×100m	メドレーリレー	決勝	14:20
30	男子	4×100m	メドレーリレー	決勝	

終了式 15:00~

【バスケットボール】

1 参加規程

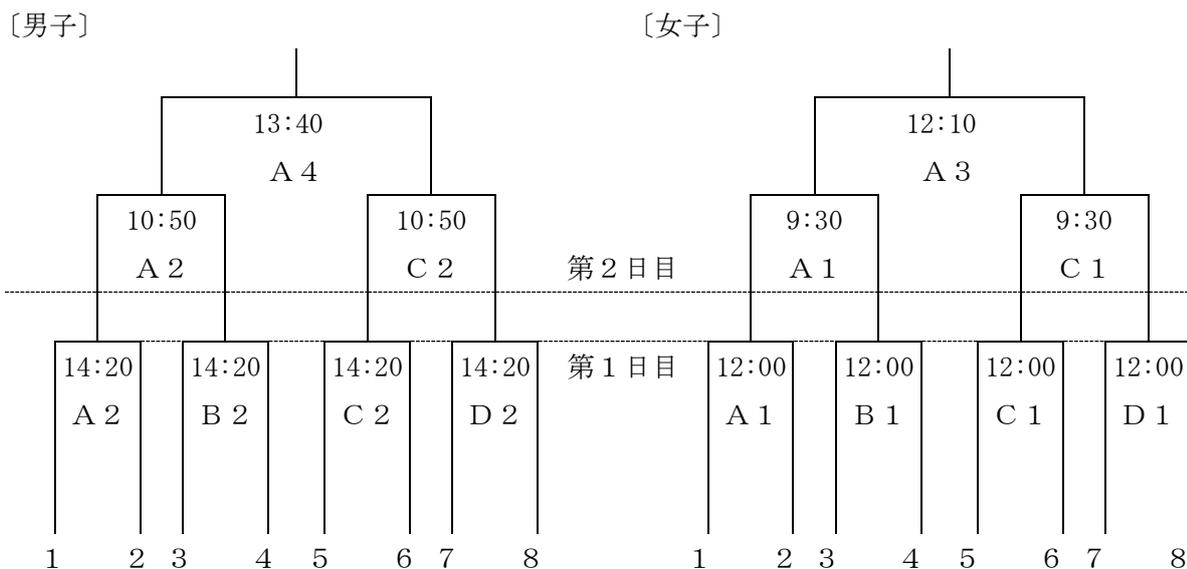
各県男女各2チームとする。

2 競技規則

- (1) (公財)日本バスケットボール協会「2024バスケットボール競技規則」による。
- (2) ベンチは組合せ番号の小さいチームが、コートからオフィシャル席に向かって右側とする。
- (3) メンバー票の提出は必要ない。ただし、メンバーの変更がある場合は、「変更届」を監督会議で提出する。
- (4) ユニフォームの色は、組合せ番号の小さいチームが淡色を着用する。2020年4月から施行されている(2020年11月11日更新)JBAユニフォーム規則に従い、ユニフォームの番号は「0から99・00」までのいずれかの番号のものを着用すること。
- (5) 前のゲームのハーフタイムでは、次のゲームのチームが3分前まで練習をしてもよい。
- (6) ベンチに入れる者は、登録された選手15名以内と、引率責任者1名、コーチ1名、アシスタントコーチ1名、マネージャー1名の合計19名以内とする。
 - ① 引率責任者は、出場校の校長・教員(非常勤講師は除く)・部活動指導員とする。
 - ② コーチ・アシスタントコーチ(Aコーチ)は、校長の認めた者とする。
 - ③ マネージャーは、出場校の教員または生徒とする。
- (7) マンツーマン推進の精神に則り、ゾーンディフェンスは禁止とする。なお、最新版の推進関連規定(2023.12.20版)を適用する。

3 競技方法

- (1) トーナメント方式とする。3位決定戦は行わない。
- (2) 組合せ



4 その他

開会式は行わないが、男子決勝戦の後に表彰式を行う。

【サ ッ カ ー】

1 参加規程

各県2チームとする。

(公財)日本サッカー協会の女子加盟チーム選手は、在籍中学校または、地域クラブ活動に所属する中学校の生徒であれば、移籍を行うことなく、本大会に参加することができる。

2 競技規則

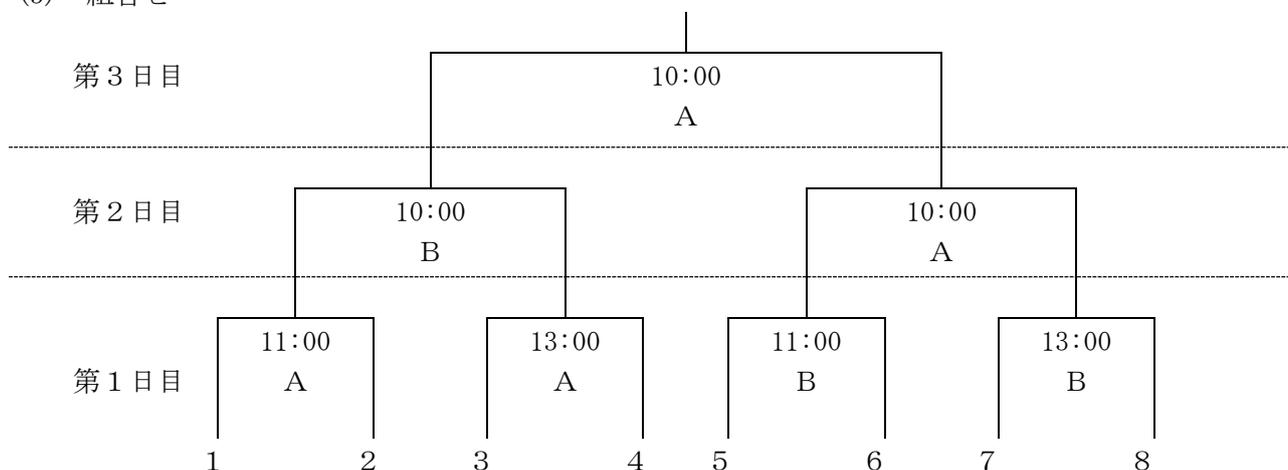
- (1) (公財)日本サッカー協会の「サッカー競技規則(当該年度)」による。
- (2) 選手登録は18名とし、試合開始前に最大限7名までの交代要員の氏名を主審に通告しておき、交代要員全員が、主審の許可を得て交代することができる。(一度退いた競技者は再び出場することはできない。)
※ 登録(申込書)に変更がある場合は、監督会議にて「変更届」を16部提出すること。
- (3) テクニカルエリアを採用する。
- (4) 使用球は公認球(5号)とする。
- (5) 本大会において、退場を命じられた選手は、次の1試合に出場することができない。違反行為の内容によっては、大会の規律委員会で、それ以後の処置について決定する。各県大会における退場による出場停止処分の未消化分に関しては、四国大会でも適用される。
- (6) 本大会期間中、警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。各県大会における警告の累積による出場停止の未消化分に関しては、四国大会では適用されない。

3 引率者及び監督

令和6年度全国中学校体育大会、第55回全国中学校サッカー大会要項に準ずるものとする。

4 競技方法

- (1) トーナメント方式とする。
- (2) 試合時間は60分(30分ハーフ)とする。勝敗が決しないときは、10分間(5分ハーフ)の延長を行う。なお決しないときは、PK方式により勝敗を決定する。
- (3) 組合せ



5 その他

- (1) ユニホームは参加申込書に記入したもの。参加申込書類送付以降の変更は認められない。なお、背番号の変更も認めない。また、必ず正・副と異なる色のユニホーム(シャツ・ショーツ・ストッキング)を用意すること。
- (2) 審判員と同一色または類似色(黒または紺)のユニホームをシャツに用いることはできない。なお、ショーツとストッキングは黒または紺のみでも可とする。ゴールキーパーについても同様である。
- (3) シャツの前面・背面に参加申込書に登録された選手番号を付けること。ショーツの番号については、付けることが望ましい。なお、番号は1番から99番までとする。
- (4) 雷発生の危険性が高い場合は、直ちに試合を中断し、その後の処置については、本大会の専門部で決定する。
- (5) 大会に関わるすべての者の感染症対策については、(公財)日本中学校体育連盟の「インフルエンザ・コロナウイルス感染症等に関わる対応について」等に従うこと。

【ハンドボール】

1 参加規定

- (1) 各県男女2チームとする
- (2) 選手15名以内、役員4名以内。
(役員とは、監督1名、役員3名とする。当該校教職員及び部活動指導員であり、外部コーチは校長が認めた者でなければならない。)
- (3) 今大会の開催基準要項並びに、四国中体連発出の、複数校合同チーム編成規定、拠点校部活動参加規定、競技部が定める細則に則り参加すること。

2 競技規則

- (1) (公財)日本ハンドボール協会競技規則(当該年度規則)による。
- (2) 競技時間 25分-10分-25分
 - ① 延長戦は、準決勝戦までは第一延長のみとし、その後は7mTCとする。
 - ② 決勝戦は、正規で行い、決しない場合は7mTC(5人)とする。
- (3) ユニフォームは、コート上でCPとGKの4色が判別できるものを用意する。
- (4) 申込後の選手変更は、「変更届」に記入の上、監督会議前に本部に提出すること。
- (5) ボールは、(公財)日本ハンドボール協会検定球とする。
- (6) 本大会の使用球は<handballs playd without resin>仕様のため素手で使用することを推奨するが、両面テープは使用可とし、松ヤニ及び粘着スプレーの使用は不可とする。

3 競技方法

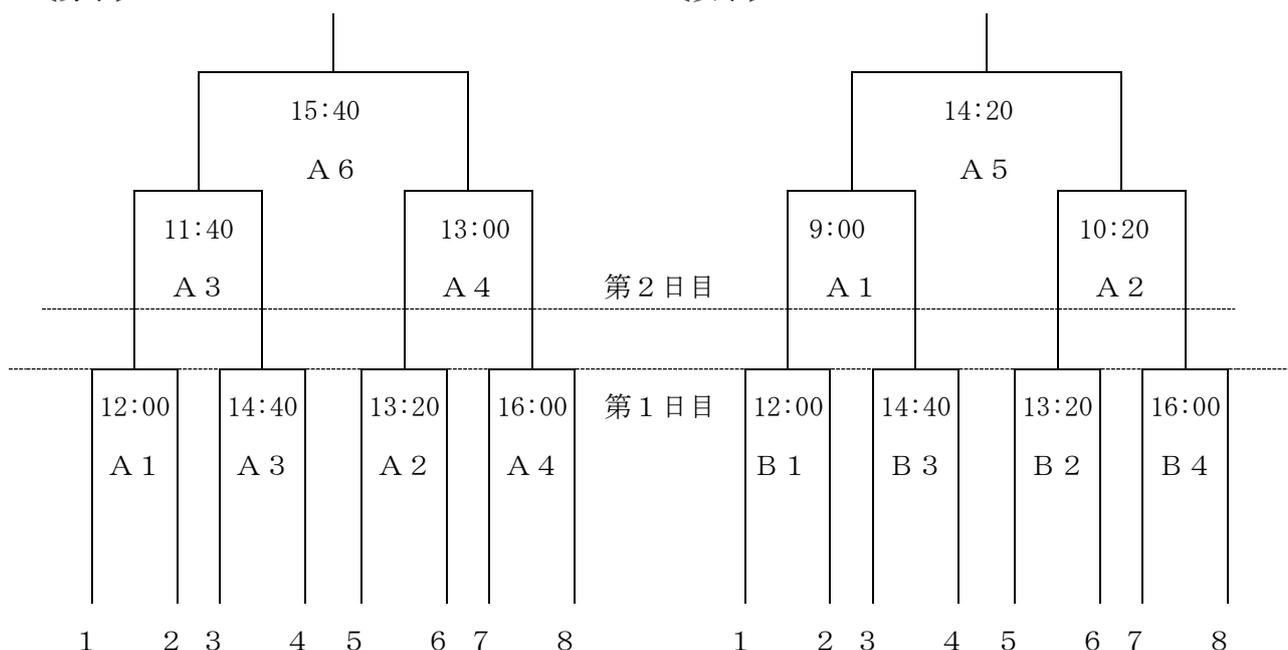
- (1) トーナメント方式とする。
- (2) 組合せ

A : 高松市香川総合体育館

B : 高松市総合体育館 (女子1日目のみ)

[男子]

[女子]



【軟式野球】

1 参加規程

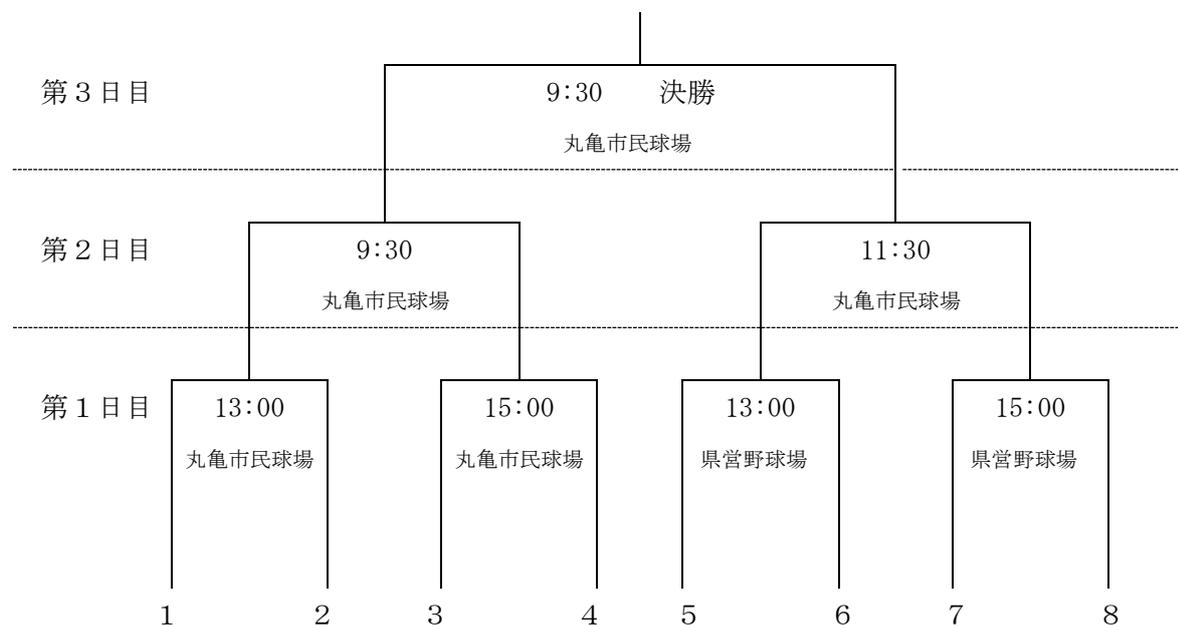
- (1) 各県2チームとする。
- (2) 1チームの編成は、監督(引率責任者)1名、選手18名以内(スコアラーを含む)とする。また、この他に教員を2名追加することができる。但し、外部指導者(コーチ)が入る場合は1名とし、計21名以内とする。なお、監督は背番号30、コーチは29番、28番をつけるものとする。

2 競技規則

- (1) 当該年度公認野球規則並びに当該年度(公財)全日本軟式野球連盟競技者必携及び別に定める大会特別規定による。
- (2) 使用球は、(公財)全日本軟式野球連盟公認M号球とする。
- (3) その他の使用器具は、(公財)全日本軟式野球連盟公認(JSBBの刻印)のものとする。

3 競技方法

- (1) 全試合トーナメント方式とし、各試合7回戦とする。
- (2) 7回を完了して同点の場合は、タイブレーク戦を行う。
- (3) 背番号は1~18とし、原則としてポジション別とする。
- (4) 組み合わせ



※ 丸亀市民球場=レクザムボールパーク丸亀 県営野球場=レクザムスタジアム

※ 開会式は両球場で行う。参加チームは各会場の4チームとする。

【体操競技】

1 参加規程

(1) 団体

各県1チームとする。県大会で優勝した学校・地域クラブ活動を県代表とする。
チームは最大4名と補欠2名をもって編成する。(最低構成人数は3名)

(2) 個人

県大会における個人総合成績上位4名が出場権を得る。
4名の中に団体チームの選手がいる場合、繰り上げとなる。
団体チームがない場合は、個人8名までの出場を認める。

2 競技規則

- (1) 日本体操協会制定男子採点規則当該年度版中学男子適用規則を採用する。
- (2) 日本体操協会制定女子採点規則当該年度版変更規則I・女子体操競技情報最新版を採用する。
- (3) 申込後、選手変更がある場合は、「変更届」を専門部長会で大会本部に提出する。
- (4) 競技種目

(男子) ● ゆか (広さ: 12m平方 時間: 自由演技~75秒)

● あん馬 (高さ: 115cm)

● 跳馬 (高さ: 125cm 1助走1演技)

● 鉄棒 (高さ: 275cm)

(女子) ● 跳馬 (高さ: 125cm 3助走2演技)

● 段違い平行棒 (高さ: 上棒 255cm、下棒 175cm<20cmマット>)

● 平均台 (高さ: 125cm<20cmマット> 長さ5m 幅10cm 時間~90秒)

● ゆか (広さ: 12m平方 時間: ~90秒)

3 競技方法

団体総合

男子=3種目(ゆか、跳馬、鉄棒)の自由演技の各種目のベスト3の合計とする。

女子=3種目(跳馬、平均台、ゆか)の自由演技の各種目ベスト3の合計とする。

個人総合

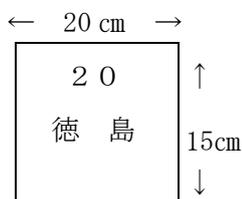
男子=4種目(ゆか、あん馬、跳馬、鉄棒)の自由演技 計4種目の合計とする。

女子=4種目(跳馬、段違い平行棒、平均台、ゆか)の自由演技 計4種目の合計とする。

4 その他

- (1) 男女各 3 名の審判を各県から帯同する。
- (2) 服装は、体操競技にふさわしいユニフォームを着用すること。
 - 審判の服装 男：上…白 下…グレー（スラックス）
女：上…白 下…紺（スカート、スラックス）
 - 監督・外部指導者(コーチ)・テクニカルアドバイザーは、短パン厳禁。
- (3) 団体チームの演技順序は、種目毎にオーダー表により行う。
- (4) 演技内容は、危険性のないようチームで責任を持つ。
- (5) 背番号を必ずつけること。
 大きさ：たて 15 cm よこ 20 cm
 男 子：白地に黒文字 女 子：白地に赤文字

背番号 県名	団 体		個 人
	正選手	補 欠	県大会下位のものからつける
香 川	10～13	14～15	16 ～ 19
徳 島	20～23	24～25	26 ～ 29
高 知	30～33	34～35	36 ～ 39
愛 媛	40～43	44～45	46 ～ 49



- (6) 演技は、団体→個人の順に行う。
- (7) フロアには、選手・監督（チームリーダー）及び各校 1 名のコーチ（コーチ証表示）かテクニカルアドバイザーが入ってよい。
- (8) 演技前のアップ時間
 女子：1 人跳馬 2 本、平均台・ゆか 30 秒、段違い平行棒 50 秒以内とする。
 男子：1 人跳馬 2 本。1 人 30 秒とする。
- (9) 女子個人出場の選手には、1 名の音楽係をつけてよい。
- (10) 競技規則に従い、ピタリマットを入れる。ピタリマットがない場合は、普通のセーフティーマットの使用も可とする。
- (11) 会場により、器械の規格、高さ、マットの厚さ等、完全には対応できない場合がある。
- (12) 「遵守事項 2024」に準ずる。

【新 体 操】

—女子—

1 参加規程

(1) 団体

各県2チームとする

1チーム5名とし、3名の補欠を申し込むことができる。*必要最低人数5名

(2) 個人

個人は各県3名とする。

2 競技規則

(公財)日本体操協会 新体操女子採点規則当該年度版ジュニアルール及び、当該年度中体連ルール(ホームページ確認)を適用する。

団体及び個人の選手は、それぞれのチームを示す標識(マーク)を前面ウエストより上につける。マークの大きさは、3cm×3cm以上の大きさとする。(団体は同一のマークであること)

3 競技種目及び競技方法

(1) 団体は、自由演技のみとし、手具は「フープ5」とする。

(2) 個人は、自由演技のみとし、手具は「フープ・リボン」とする。

(3) 演技時間 団体女子：2分15秒～2分30秒とする。

個人：1分15秒～1分30秒とする。

4 その他

(1) 演技順序は、抽選による。

(2) 審判員は各県より4名派遣する。(1名は各県専門部長とする)

(3) フロアマット(アンダーマット有り)を使用する。

(4) 音響は、各チームで準備する。

(5) 撮影許可書を希望するチームは、必要部数を参加申込書に記入する。

(6) ビデオ、カメラの撮影は撮影許可証を持った人のみとする。(無観客になった場合は変更あり)

(7) 外部コーチは外部コーチ証をつけること。ただし、試合の際、コーチの活動は、公式練習場に限る。

(8) 申込み後、登録選手に変更がある場合は、「変更届」を監督会議にて本部に提出すること。

(9) 団体終了後、個人練習時間までを5分とする。

(10) 審判は、年度ごとに、縦列で右にローテーションする。

(11) 会場掲示用チーム名を表す旗は、各所属一枚のみとし、学校名やクラブ名などチーム名とする。個人名は禁止する。

審 判	団体		1	2	3	4
		DB	愛媛	徳島	香川	高知
	DA	香川	高知	愛媛	徳島	
	個人フープ	DB	愛媛	徳島		
		DA	香川	高知		
	個人リボン	DB	徳島	愛媛		
		DA	高知	香川		
	女子団体・ 女子個人 フープ・リボン	A	徳島	香川	高知	愛媛
		E	高知	愛媛	徳島	香川

—男子—

1 参加規程

(1) 団体

各県2チームとする。

1チーム6名とし、2名の補欠を申し込むことができる。

(2) 個人

実施しない。

2 競技規則

(公財) 日本体操協会制定 当該年度適用男子新体操規則を採用する。

3 協議種目及び競技方法

(1) 団体は自由演技とする。

(2) 演技時間は3分以内とする。

【バレーボール】

1 参加規定

各県男女各2チームとする。

2 競技規則

(1) 当該年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則及び、（公財）日本中体連バレーボール競技部競技規則に準じて行う。

※ リベロプレーヤーについては、一般と同様の「リベロリプレイスメント」ルールで行う。

（取扱いの詳細は、（公財）日本中体連バレーボール競技部のホームページを参照すること。）

(2) ネットの高さは、男子2m30cm、女子2m15cmとする。

(3) ボールは4号球で、人工皮革・カラーボールとする。

(4) ラインアップシートは、試合ごとに作成し、提出すること。

(5) ベンチに入れる者は、選手12名以内と監督、コーチ、マネージャー（生徒に限る）各1名とする。

監督・コーチは、当該チームの代表者・校長・教員・部活動指導員であり、引率者としての責任を負う。学校のチームにおいてコーチが外部指導者（コーチ）の場合は、当該校の校長が認めた者で、外部指導者（コーチ）証をつけること。

※ 監督・コーチの服装は、統一されたものとする。（短パン・ランニングは不可）

(6) ユニフォームについては、規定を遵守すること。

（取扱いの詳細は、（公財）日本中体連バレーボール競技部のホームページを参照すること。）

(7) 3位決定戦は行わない。

(8) 「給水のためのタイムアウト」及び「熱中症対策としての団扇使用」を採用する。

（取扱いの詳細は、（公財）日本中体連バレーボール競技部のホームページを参照すること。）

3 競技方法

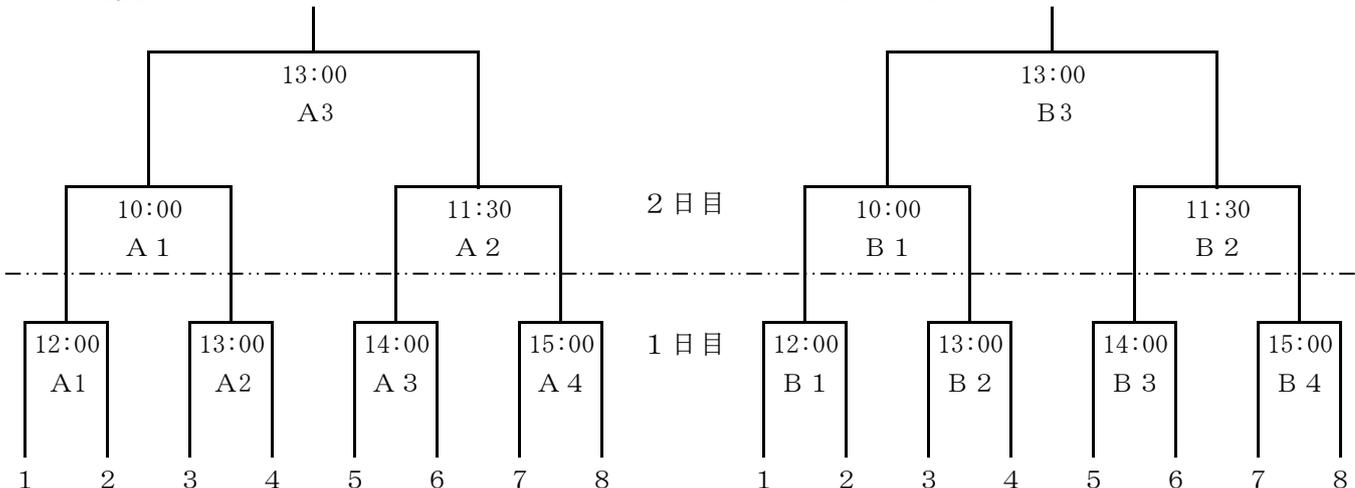
(1) トーナメント方式とする。

(2) 設定時刻は、試合開始時刻とする。

(3) 組み合わせ

〔男子〕

〔女子〕



【ソフトテニス】

1 参加規程

(1) 団体戦

各県男女各2チームとする。各県の団体戦の成績順位で、上位2チームを選ぶ。

(2) 個人戦

各県男女8ペア。各県の個人戦の成績順位で、上位8ペアを選ぶ。

2 競技規則

(1) 競技規則は現行の(公財)日本ソフトテニス連盟競技規則(ハンドブック)及び本大会開催要項による。

(2) 使用球は公認球(白)を使用する。今年度、団体戦は男女ともアカエムボール、個人戦は男子ダンロップボール、女子ケンコーボールとする。

(3) ユニフォームは、上は半袖のゲームシャツ(襟なし可)、膝より上のパンツ、スコートを着用すること。

ユニフォームは、公認メーカーのカタログ記載(以前のカタログも可)ゲームシャツとする。また、学校指定の体操服での参加は、可とする。

(アンダーウェアは黒、白、ベージュ色の単色とし、文字(メーカーロゴ除く)や模様のないものとする。)

(4) テニスシューズ(公認メーカー)を必ず履くこと。

(5) 監督・コーチがベンチに入る時は、スポーツウェアを着用し、テニスシューズを必ず履くこと。また、監督・コーチは常にIDを付けること。(監督・コーチゼッケンは不要とする。)

地域クラブ活動の監督・コーチでベンチ入れできるのは、コーチIの資格保持者(今年度習得見込み者含)である。(コーチIの資格保持者は認定カードを持参すること)

(6) 外部指導者(コーチ)のベンチ入りを認める。IDの他に【各県指定の外部指導者(コーチ)証】を所持すること。

(7) 選手変更について

① 団体戦で、申し込み後、メンバーを変更する場合は、「変更届」を受付で提出し、選手変更を行う。

② 個人戦で1名が病気等で出場不可能になった場合は、「変更届」を受付で提出し、選手変更を行う。

③ 個人戦で2ペア以上出場時に各ペアの1名ずつが出場不可能になった場合は、残りの1名ずつでペアを組んで出場することができる。その場合、組み合わせのどの位置に配するかは、本部で決定する。

(8) ハチマキには正面に特別な文言や記号を後から記入もしくは印刷し、使用してはいけない。ただし、ハチマキの端の部分に「学校名・名前」を記入してもよい。帽子・サンバイザーもこれに準ずる。

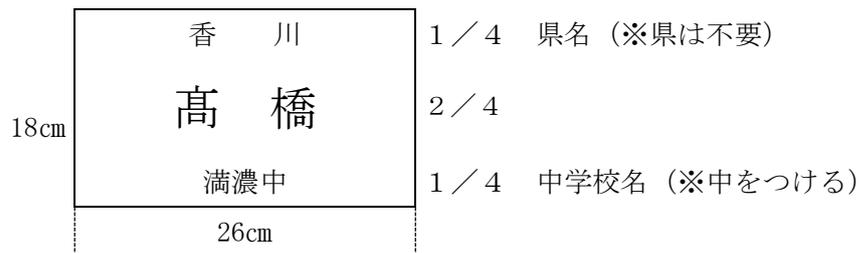
(9) 背中のゼッケンを各校で別の布などで作成し、背中の中央につける。ただし、四隅を留めるものとする。

① ゼッケンはB5版横(白地)の大きさの布に都道府県名、姓、学校名(地域クラブ活動名)を3段で記述する。また、県名の「県」の文字はつけず、中学校の「中」の文字はつけるものとする。

② ゼッケンの文字は「漢字」「ひらがな」「カタカナ」「アルファベット」を使用し、文字色は「黒」

とする。シャツそのものへのプリントは認めない。(シャツへのプリントは見えないようにする。)

《例1》香川県 仲多度郡 まんのう町立満濃中学校 高橋 正



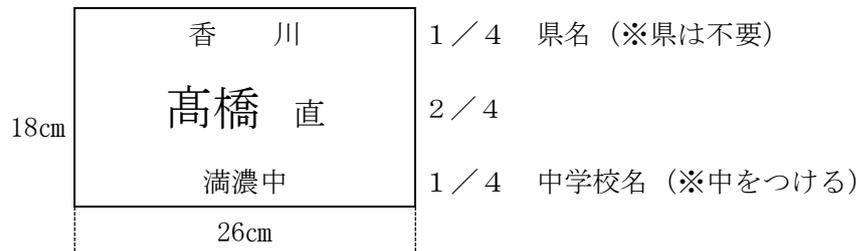
- ③ 県内で同名の中学校がある場合には、区別するために中学校名の工夫をしてもよい。(各地区ごとに望ましい表記をする。)

《例2》香川県 仲多度郡 まんのう町立満濃中学校 高橋 正



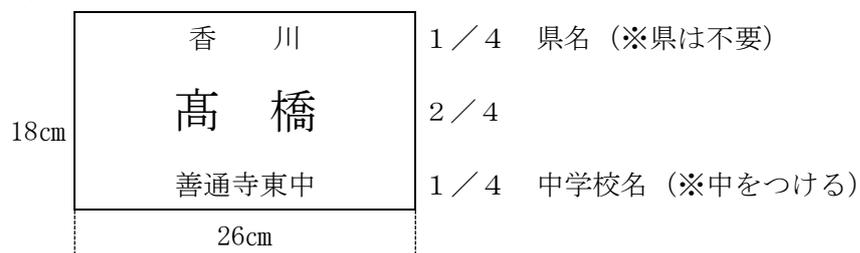
- ④ ゼッケンの文字の位置は《例1》どおりとし、同一校に同姓の選手がいる場合には、名前の一文字を付け加える。

《例3》香川県 仲多度郡 まんのう町立満濃中学校 高橋 直子



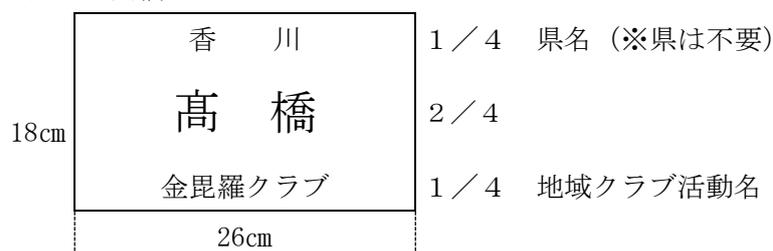
- ⑤ 中学校名が第一・第二中学校や東・西・北・南中学校のような場合には、学校名を分かりやすくするために学校所在地を付記してもよい。

《例4》香川県 善通寺市 善通寺市立東中学校 高橋 正



- ⑥ 地域クラブ活動の場合

《例5》金毘羅クラブ 高橋 正



3 競技方法

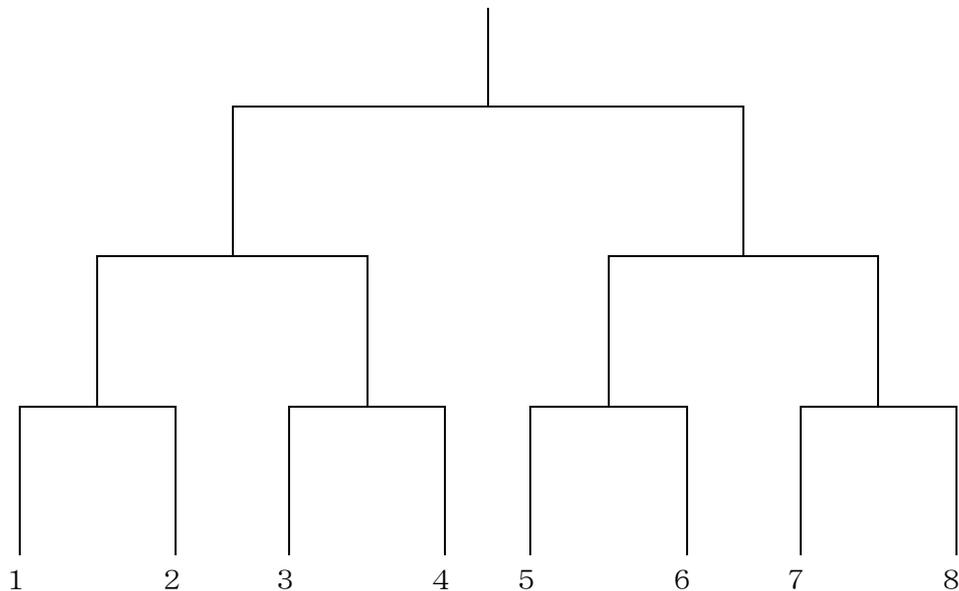
- (1) 団体戦は各県から選抜された男女各 8 チーム（各県 2 チーム）（監督 1 名と選手 8 名以内でチーム編成）によるトーナメント方式の団体戦点取方式で行う。（※必要最低選手数 4 名）
- (2) 個人戦は各県から選抜された男女各 32 ペア（各県 8 ペア）によるトーナメント方式で行う。
- (3) ベンチには登録された監督・コーチの内 1 名入ることができる。登録以外の監督・コーチが入る場合には、監督（コーチ）変更届、追加届を受付で提出すること。
- (4) ゲーム数は 7 ゲームとする。
- (5) 試合開始時刻は、次のとおりとする。

（第 1 日目）	11：00～ 開会式	（第 2 日目）	9：00～ 開始式
	11：30～ 団体戦		9：30～ 個人戦

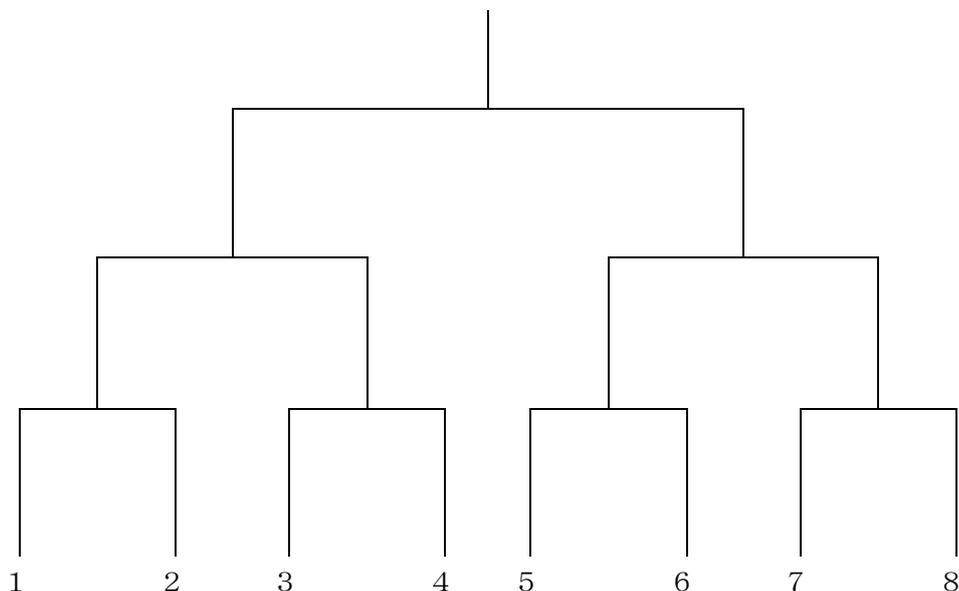
※ 個人戦の第 5 代表は、準々決勝で敗れた 4 組で、トーナメント表に基づいて決定戦を行う。

(7) 組合せ

〔男子〕



〔女子〕



【 卓 球 】

1 参加規定

(1) 団体戦

各県男女3チームとする。(選手8名以内、監督1名で編成)

※ 必要最低選手数 6名(全校生徒が卓球部の場合は4名)

※ 監督の他にアドバイザーとして、学校の場合は、出場校の教職員(部活動指導員含む)または校長の承認を得た外部指導者(コーチ)1名のベンチ入りを認める。地域クラブ活動の場合は、その構成員1名(20歳以上の成人)のベンチ入りを認める。

(2) 個人戦

各県男女上位10名とする。

※ アドバイザーとして、選手1名につき1名のベンチ入りを認める。但し、校長、教職員、生徒、校長の承認を得た外部指導者(コーチ)のいずれかとする。地域クラブ活動の場合は、その構成員1名(選手もしくは20歳以上の成人)のベンチ入りを認める。

2 競技規則

(1) 現行の日本卓球協会が制定したルールによる。

(2) 試合球は40mm、ホワイトボール(硬式認定球)とする。

(3) ユニフォームは、JTAA(日本卓球協会公認)のマークの入っているユニフォームを着用する。

(4) ゼッケン

① 出場選手は、ユニフォームの背部に、白布に選手名(姓)・県名・学校名またはチーム名を記入したゼッケンを必ずつけて出場する。

ただし、同姓の場合は名を1字だけ付け加える。

② ゼッケンは、日本卓球協会交付のものでもよい。

(5) 選手、監督、アドバイザーに変更がある場合は、受付で「変更届」を提出すること。団体戦・個人戦とも、変更届の受付は第1日目の10:30までとする。

25cm	
選手名(姓)	12.5cm
県名	4cm
チーム名	6cm

3 競技方法

(1) 試合日程

<第1日目>

① 11:30~ 団体戦予選リーグ(5番まで)

② 終了後 団体戦決勝トーナメント1回戦(3点先取)

<第2日目>

① 9:00~ 団体戦決勝トーナメント準決勝・決勝及び代表決定戦(3点先取)

② 12:00~(予定)個人戦

(2) 団体戦

- ① 3チームずつのW組, X組, Y組, Z組の4リーグに分けて予選を行う。
- ② 各リーグに同県チームが入らないように抽選し, 試合順序は次のとおりとする

	(I)	(II)	(III)
W組	A 1	B 2	C 3
X組	B 1	C 2	D 3
Y組	C 1	D 2	A 3
Z組	D 1	A 2	B 3

○試合順序

第1試合 (II)－(III)

第2試合 (I)－(II)・(III)の敗者

第3試合 (I)－(II)・(III)の勝者

- ③ 予選リーグ終了後, 各リーグの1位・2位チームは, 決勝トーナメントへ進出する。

(1日目は, 1回戦まで行う。)

(ア) 各リーグの1位チームから抽選する。

※ 勝ち上がりの多い県から抽選する。(同数の場合はジャンケン)

※ 同県のチームは, 左右に分ける

(イ) 各リーグの2位チームは, 次のことに考慮して抽選する。

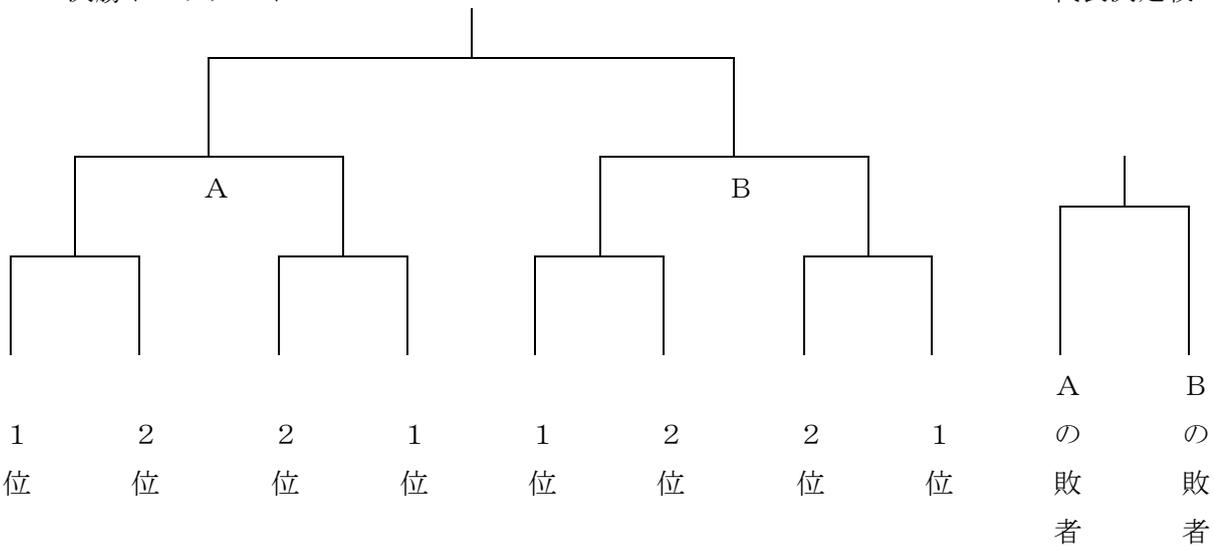
※ 1回戦での同県対戦は避ける。

※ 1回戦での同リーグ対戦は避ける。

- ④ 2日目は, 決勝トーナメント準決勝より始め, 決勝及び代表決定戦を行う。

<決勝トーナメント>

<代表決定戦>



- ⑤ 4シングルス・1ダブルスで, 3番目にダブルスをおく。

- ⑥ 予選リーグはすべて5番まで行い, 5試合すべての勝敗をポイントとして有効とする。

決勝トーナメント・代表決定戦の試合は3点先取法とする。

- ⑦ シングルスとダブルスは重複できない。

(3) 個人戦

シングルスのみとし, トーナメント方式による。

【バドミントン】

1 参加規程

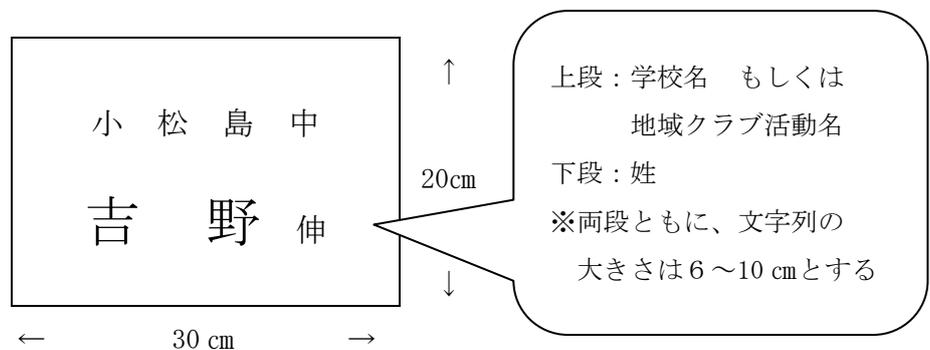
- (1) 各県男女とも次のとおりとする。

	高 知	愛 媛	香 川	徳 島	合 計
団体戦	2	2	2	2	8
個人戦シングルス	3	3	3	3	12
個人戦ダブルス	3	3	3	3	12

団体構成 … 団体戦チームは監督1名、コーチ又はマネージャー1名、選手5～7名を同一チーム所属選手で結成する。※必要最低選手数5名

2 競技規則

- (1) 当該年度（公財）日本バドミントン協会競技規則・同大会運営規程及び同公認審判員規程による。
- (2) シャトルは、室温に適した（公財）日本バドミントン協会第2種検定合格水鳥球を使用する。
- (3) 外部指導者（コーチ）については、所属校長が認めた外部指導者（コーチ）証を胸につけた者に限る。
- (4) 競技時の服装は、色つき着衣を使用する場合は、（公財）日本バドミントン協会審査合格ウェアとする。
- (5) 上衣の背面中央部には、たて20cm、横30cmの範囲内に所属チーム名及び姓の表示をすること。また、黒か紺の日本語（楷書）で明記すること。同姓の場合は、名前の1字目を小さく入れる。



- (6) コーチは、マッチ（試合）にふさわしい服装で臨む事。チームユニフォーム・シャツ・ポロシャツ・ブラウス、長ズボンまたはスカートとし、ジーンズやビーチスタイル、バミューダ、ショーツ、スリッパやサンダル等は禁止とする。

3 競技方法

- (1) 男女とも団体戦及び個人戦を行う。
- (2) 団体戦、個人戦ともトーナメント方式で行う。
- (3) 個人戦は、第3代表決定戦を行う。
- (4) 団体戦は、複2単1の対抗とし、複・単・複の順に行う。
(同一選手が、単と複、複と複を兼ねて出場できない)

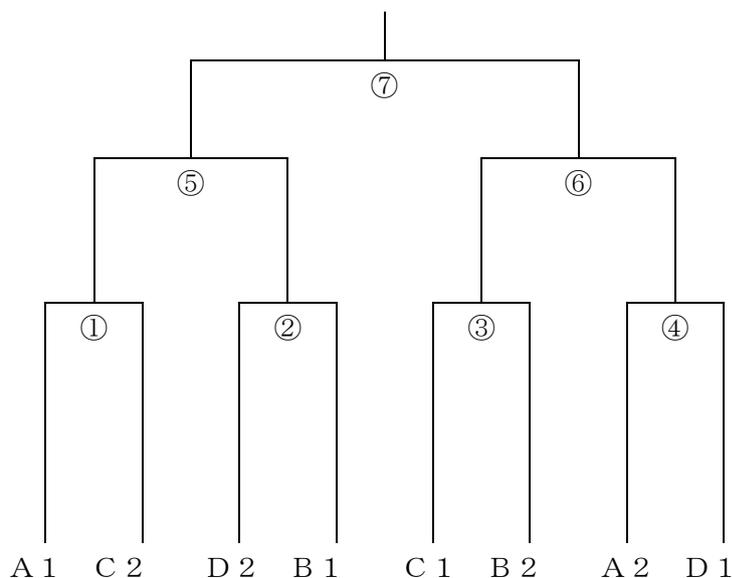
(5) 個人戦は、単と複を兼ねて出場することはできない。

(6) 競技日程は、次のとおりとする。

- ① 1日目 開会式 団体戦
- ② 2日目 個人戦 閉会式

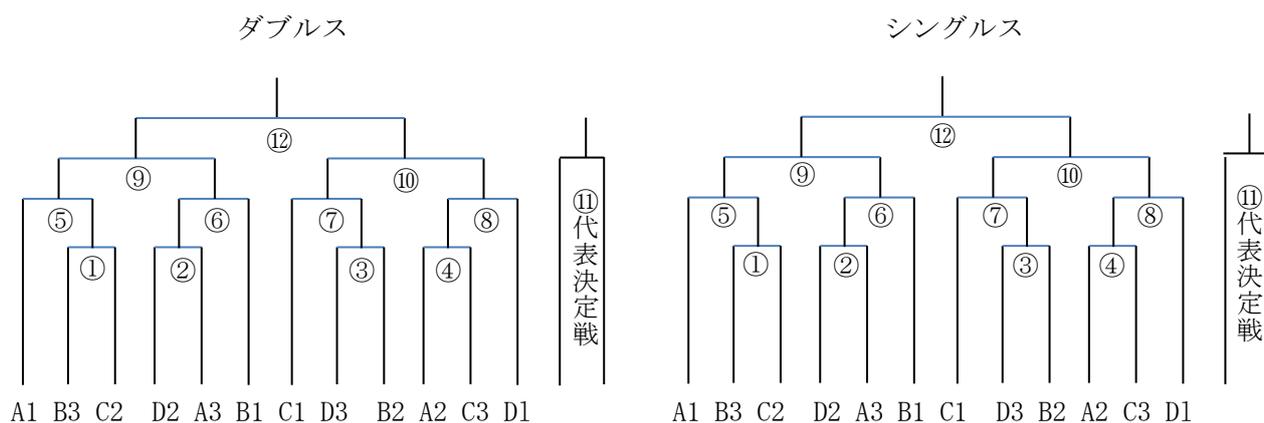
(7) 団体戦の試合方法は、次のとおりとする。

[男子・女子]



(8) 個人戦の試合方法は、次のとおりとする。

[男子・女子]



4 その他

- (1) 団体戦における負傷・疾病などによる選手の変更は、「変更届」(理由を記入)を監督会議で提出すること。
- (2) 個人戦における選手の変更は認めない。

【ソフトボール】

1 参加規程

各県男女各2チームとする

2 競技規則

- (1) 本大会は当該年度（公財）日本ソフトボール協会オフィシャル・ソフトボール・ルールによる。
- (2) プレイヤーは18名以内（スコアラー1名を含む）とし、他のベンチ入りは、監督1名、コーチ1名、引率責任者1名、合計21名以内とする。
- (3) フィールドイングは、競技場に入ることを許されたメンバー（プレイヤーは18名以内）で行わなくてはならない。
- (4) 試合開始予定時刻30分前までに当該球場に集合すること。
- (5) 安全のため、金属製及びセラミック製のスパイクの使用は禁止する。
- (6) 同一チームの監督・コーチ・プレイヤーのユニフォームは、同色・同意匠でなければならない。また、背中と胸下にユニフォームナンバーをつける。監督は30、コーチは31・32、主将は10とする。ただし、引率責任者及び監督は出場チームの代表者・校長・教員・部活動指導員とする。また、コーチは所属学校の校長または教員、または、校長の承認を得てコーチ登録をした者に限る。所属学校の校長または教員以外のコーチは、胸に指定の記章をつけなければならない。ただし、地域クラブ活動においては、該当しない。
- (7) コーチにはフィールドイングは認めるが、選手交代・打ち合わせ・抗議等の権限は認めない。また、ベンチから出て指示することも認めない。
- (8) 捕手は、スロートガード付きマスク、捕手用ヘルメット、ボディプロテクター、両足に膝当て付きレガースを着用しなければならない。なお、準備投球の時、競技場内のいかなる場所で投球練習するときも必ずスロートガード付きマスク、捕手ヘルメットを着用しなければならない。
- (9) 打者・打者走者・走者・次打者・ベースコーチは、ヘルメットを着用しなければならない。
- (10) 1・3塁のベースコーチは、プレイヤーのみとする。
- (11) チームのメンバーは、声を出したり、動作で投球のコースを教えたりしてはならない。
- (12) 試合終了後のあいさつですべて完了とし、次の試合のためにベンチを速やかにあける。なお、対戦チーム、バックネット裏へのあいさつは一切行わない。
- (13) 役員テント、本部テントに大会関係者以外は入れない。
- (14) 監督会議には、ユニフォームを着用して出席すること。

※(公財)日本中学校体育連盟ソフトボール競技部申し合わせ事項
(2023(令和5年)4月1日)より抜粋

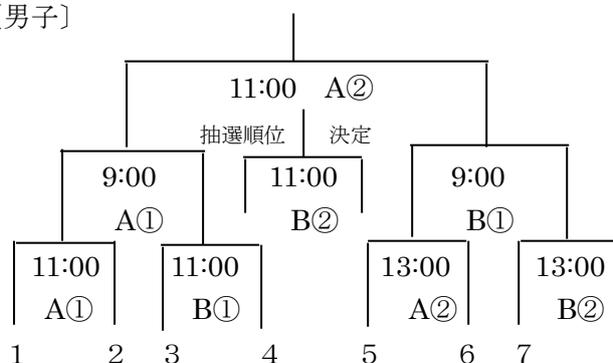
3 競技方法

- (1) 試合方法は、トーナメント方式とし、男子は抽選順位決定戦を行う。
- (2) 試合会場は、次の通りである。なお、今年度は、開会式は行わない。

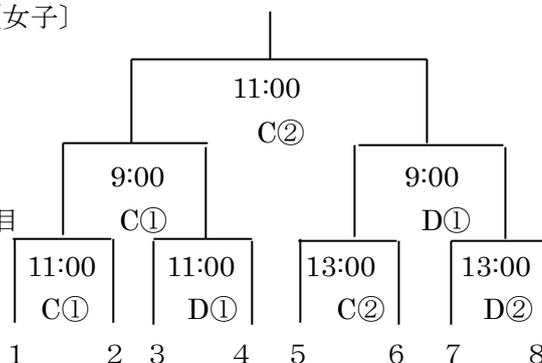
男子：重信川かすみの森公園
(A・Bコート)

女子：松山中央公園運動広場
(C・Dコート)

- (3) 組合せ
[男子]



- [女子]



4 その他

大会参加申込書提出後の選手の変更は認めない。また、全国大会の参加選手は、ブロック大会に参加した選手に限る。

【 柔 道 】

1 参加規程

(1) 団 体 戦

① チーム編成

各県男女各 2 チームとする。

男子………監督 1 名、コーチ 1 名、選手 7 名以内とする。(3 名以上での出場も認める。)

女子………監督 1 名、コーチ 1 名、選手 4 名以内とする。(2 名での出場も認める。)

② 選手オーダーは、大将より体重の重い順に編成する。交代の選手と入れ替えた場合においても同様に体重順とする。(一度退いた選手の再出場は認めない。)

(2) 個 人 戦

① 各県各階級 4 名で男子 32 名、女子 32 名、計 64 名とする。

[男子] [女子]

●50kg級 (50kg以下)	●40kg級 (40kg以下)
●55kg級 (50kg超～55kg以下)	●44kg級 (40kg超～44kg以下)
●60kg級 (55kg超～60kg以下)	●48kg級 (44kg超～48kg以下)
●66kg級 (60kg超～66kg以下)	●52kg級 (48kg超～52kg以下)
●73kg級 (66kg超～73kg以下)	●57kg級 (52kg超～57kg以下)
●81kg級 (73kg超～81kg以下)	●63kg級 (57kg超～63kg以下)
●90kg級 (81kg超～90kg以下)	●70kg級 (63kg超～70kg以下)
●90kg超級 (90kg超)	●70kg超級 (70kg超)

(3) 体重測定

① 団体戦・個人戦出場者の体重測定は、下記の時間内に競技会場で行う。

② 1 日目 8:10 ～ 10:40 (団体・個人体重測定)

2 日目 7:40 ～ 8:40 (個人体重測定・前日計量未実施者のみ)

※ 出場者は全身体重測定を受けなければならない。

2 日程

(1) 令和 6 年 8 月 3 日 (土)

- | | |
|----------------|---------------|
| ① 開場 | 8:00 |
| ② 体重測定 | 8:10 ～ 10:40 |
| ③ 専門部長会 | 9:20 ～ 10:10 |
| ④ 審判会議 | 10:20 ～ 10:40 |
| ⑤ 監督会議 | 10:50 ～ 11:20 |
| ⑥ 開会式 | 11:30 ～ 11:50 |
| ⑦ 競技開始 | 12:00 |
| ⑧ 競技終了後 団体戦表彰式 | |

(2) 令和6年8月 4日 (日)

- | | |
|---------------------|-------------|
| ① 開場 | 7:30 |
| ② 体重測定 | 7:40 ~ 8:40 |
| ③ 専門部長会 | 7:50 ~ 8:10 |
| ④ 審判会議 | 8:20 ~ 8:40 |
| ⑤ 監督会議 | 8:50 ~ 9:20 |
| ⑥ 競技開始 | 9:30 |
| ⑦ 競技終了後 個人戦表彰式及び閉会式 | |

3 競技規則

(1) 国際柔道連盟試合審判規程及び国内における「少年大会特別規程」による。

(2) (公財) 講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を用いること。女子の黒帯使用は、白線なしの黒帯を使用すること。

(3) 柔道衣は白色とする。

4 競技方法

(1) 団体戦

① 男女とも、4チームずつのA・B2リーグに分けてリーグ方式を行う。

② 各リーグに各県1位チーム2校、2位チーム2校を含み、同県が入らないように抽選する。

③ リーグ方式終了後、Aリーグの1位チームとBリーグの2位チーム、Bリーグの1位チームとAリーグの2位チームを組み合わせ、決勝トーナメント方式を行う。

※選手変更は、基本的に前試合開始までに所定の場所にて受け付ける。

④ 試合時間は3分間とし、代表戦における延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。

⑤ 勝敗の判定基準は、「一本」「技あり」又は「僅差(『指導』の差2)」とする。

⑥ 優劣の成り立ちは以下のとおりとする。

「一本」=「反則勝ち」>「技あり」>「僅差」

⑦ リーグ方式では、チーム間の内容が同等の場合は引き分けとする。また、リーグ方式の順位は次の方法によって決定する。

ア チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。

イ アにおいて同等の場合は、勝ち数の合計による。

ウ イにおいて同等の場合は、勝ちの内容により決定する。

エ ウにおいて同等の場合は、負け数の合計による。

オ エにおいて同等の場合は、負けの内容により決定する。

カ オにおいて同等の場合は、1名による代表戦を1回行い、決勝トーナメント方式への出場チームを決定する(3校同等の場合は、代表者3名によるリーグ方式を行う)。

⑧ トーナメント方式の勝敗は、次の方法によって決定する。

ア チーム間における勝ち数による。

イ アにおいて同等の場合は、内容により決定する。

ウ イにおいて同等の場合は、1名による代表戦により決定する。

⑨代表戦は任意の選手とし、判定基準は団体戦と同様とするが、3分間の本戦で得点差が無い場合は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。延長戦による勝敗の決定方法は個人戦と同様とする。

⑩代表選で両者反則負けの場合には、チームは次の試合に進めない。

(2) 個人戦

①男女とも、各階級16名までによるトーナメント方式で行う。但し、参加人数が6名以内の場合はリーグ方式とする。

②試合時間は3分間とし、延長戦（ゴールデンスコア）は無制限とする。

③勝敗の判定基準は、「一本」「技あり」又は「僅差（『指導』の差2）」とする。得点差が無い場合は、延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。延長戦（ゴールデンスコア）で新たに差がついた時点で勝敗が決する。

5 柔道衣点検

(1)公式計量に引き続き、柔道衣点検を行う。

①（公財）全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣（上衣・下穿き・帯）を着用すること。

(2)柔道衣に必ずゼッケン（チーム名・名字入り）を縫い付けて出場すること。

①布地は白（晒、太綾）とする。

②サイズは横30～35cm、縦25～30cmとする。

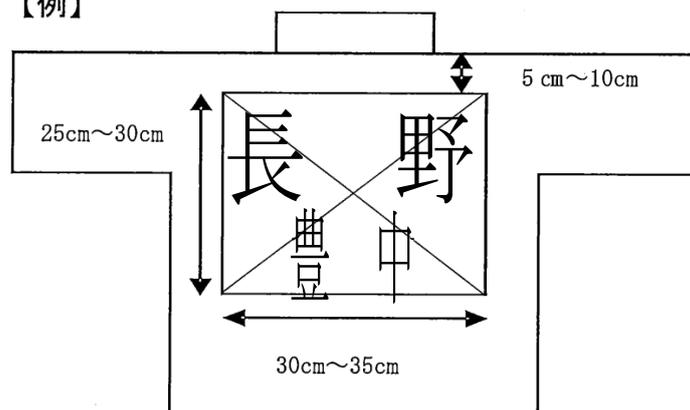
③名字（姓）は上側2/3、学校名は下側1/3とする。

④書体は太字ゴシック体とする（明朝または楷書でもよい）。

⑤文字色は、男子は黒色、女子は濃い赤色とする。

⑥縫い付け場所は襟から5cm～10cm下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。

【例】



(3)女子は、上衣の下に白色または白に近い色の半袖で無地のTシャツ又は半袖のレオタードを着用すること。

※ Tシャツのマーキングについては、（公財）全日本柔道連盟が定める規程（平成25年4月1日より施行）に準ずる。

(4)柔道衣コントロールの際は、試合時に着けるサポーター等を着用して受けること。

(5)胸マーキングは、各所属で一致していること。（有無は問わない）

6 その他

(1) 監督及びコーチは、次のとおりとする。

① 監督は、出場チームの代表者・指導者であること。

② 大会では外部指導者（コーチ）をおくことができる。但し、外部指導者（コーチ）は、出場校の校長が認めた者とする。1校1名とし、他校（チーム）と兼ねることはできない。

※ 大会運営に支障をきたす場合は、退場させることもある。

③ 監督及びコーチの服装は、審判員に準ずるものとする。

(2) 大会参加申込書提出後の選手の変更は、次のとおりとする。

① 団体戦選手の変更は、監督会議にて「変更届」（理由を記入）を提出する。【但し、疾病や傷害等、特殊な理由のみとする。】

② 個人戦選手・監督・コーチは、申込書提出後の変更は認めない。

(3) 皮膚真菌症（トングランス感染症）について、発症の有無を各所属の責任者において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができないこともある。

(4) 脳震盪対応について、選手及び指導者は下記事項を遵守する。

① 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。

② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。なお、至急専門医の精査を受けること。

③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

④ 大会事務局及び（公財）全日本柔道連盟に対し、書面により事故報告書を提出すること。

イ 監督の資格を有していない外部指導者の場合

(ア) 監督をしたり、監督席に座ったり、試合場付近に立ち入ったりすることができない。その他の入場については制限しない。

(イ) 申込書の外部指導者名の欄に氏名を記入する。

③ 地域クラブ活動として参加する場合の参加生徒の引率・監督は、それぞれの団体の指導者とする。

(15) 外部指導者(コーチ)の帯同を希望する場合は、四国各県剣道競技部で申し合わせた外部指導者の取扱いについて同意した上で、「第62回四国中学校総合体育大会剣道競技 外部指導者(コーチ)確認書(校長承認書)」を各県の申込み期日までに各県事務局に提出する。様式については、高知県中体連ホームページ(<https://sites.google.com/g.kochinet.ed.jp/kochi-chutairen>)からダウンロードする。

3 競技方法

(1) 団体戦

- ① 4チームずつのA・B2リーグに分けて予選リーグ戦を行う。
- ② 各予選リーグ戦に各県1位チーム2、2位チーム2を含み、同県チームが入らないように抽選をする。
- ③ 予選リーグ戦終了後、Aリーグの1位チームとBリーグの2位チーム、Bリーグの1位チームとAリーグの2位チームを組み合わせて、決勝トーナメント戦を行う。
- ④ 試合は3分3本勝負とする。勝敗の決しない場合は、引き分けとする。
- ⑤ 団体戦(予選リーグ戦)順位の判定は勝ち点による。(勝ち:1.0点、引き分け:0.5点、負け:0点)同じ勝ち点の場合は、勝者数、総本数の順で決定する。
- ⑥ リーグ戦1位が3チームまたは4チームの場合は、登録選手7名の中から任意の代表者による代表者戦を3分3本勝負、延長戦を2分区切りで勝敗が決するまで行う。なお、試合順はリーグ戦と同じとし、試合毎に代表者の変更を認める。リーグ戦2位が3チームの場合も同様とする。
- ⑦ リーグ戦1位が2チームの場合は、登録選手7名の中から任意の代表者による代表者戦を3分1本勝負、延長戦を2分区切りで勝敗が決するまで行う。リーグ戦2位が2チームの場合も同様とする。
- ⑧ 決勝トーナメント戦の勝敗は、勝者数、ついで総本数によって決定する。
- ⑨ 決勝トーナメント戦において、チームの勝敗が決しないときは、任意の代表者による代表者戦を1本勝負で行う。試合時間は3分、勝敗の決しない場合は、延長を勝敗が決するまで行う。

(2) 個人戦

- ① トーナメント戦方式で行う。
- ② 試合は3分3本勝負、勝敗の決しない場合は、延長戦を2分区切りで勝敗が決するまで行う。

(3) 延長戦

個人戦および団体戦代表者戦の延長戦は、2分ずつ区切って行う。

- ・ 試合時間3分⇒延長2分⇒延長2分⇒【小休止(深呼吸をする程度)】
⇒延長2分⇒延長2分⇒【休憩(面を外して給水)】
※上記を繰り返す。

【小休止】⇒開始線で10秒程度の深呼吸。

【休憩】⇒立ったまま納刀し、待機場所に戻って面を外し、所定の場所で水分補給を行う。時間は5分とする。

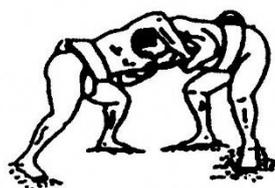
【 相 撲 】

1 参加規程

- (1) 団体戦 各県3チームとする。 選手5名（2名以上）（先鋒・中堅・大将・補員2名）
- (2) 個人戦 各県上位8名

2 競技規則

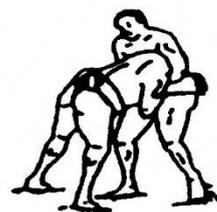
- (1) 時間は、3分を限度とする。
- (2) 禁じ技は、(公財)日本相撲連盟の「競技会規定及び審判規定」による。ただし、次の禁手（技）を加える。反則した場合は取直しとし、再度した場合は審判員の協議により負けとする。
○鴨の入れ首 ○首を脇の下に入れる ○さば折り ○かわずかけ ○反り技
○相手の首をきめる ○極め出し・極め倒し



鴨の入れ首



頭を相手の胸より
下に入れる



頭を相手の脇の下
に入れる



さば折り



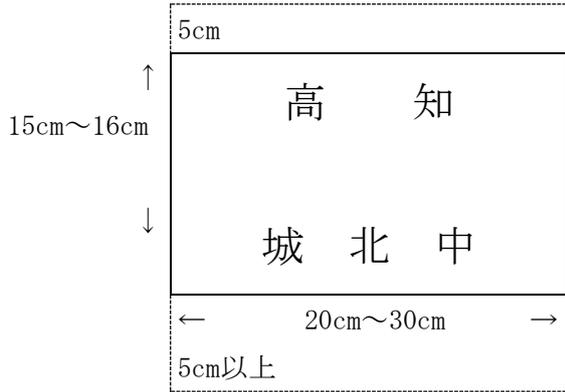
河津掛け



居反り

- (3) 交替選手が出場する場合は、本部の承認を要し、団体戦に限り前選手の位置を継承する。ただし、交替した選手は、再び出場することはできない。また、個人戦に欠場した者は団体戦も欠場とする。
- (4) 立合は主審のかけ声にて立つ。待たはなしとし、1回目で必ず立つこと。双方とも両手をついて立ち合うこと。（主審の構えての声で両選手が両手をつき、主審が「引きますよ」と声をかける。続いて主審の「ハッケヨイ」で立ち合う。）
- (5) 競技の審判に対する異議申立ては、担当の審判のみに許される。一度勝ち名乗りを上げて判定した後は、一切異議の申立ては認めない。
- (6) 選手は呼出しに応じて土俵に上がり、土俵の内側において立礼若しくは塵浄水を行い、土俵中央に進み、蹲踞して主審の合図により仕切にはいる。
- (7) 服装はまわし及びアンダーパンツ以外を身につけてはならない。
※ アンダーパンツをつかんではいけない。勝敗に影響する行為があった場合は、審判団の協議とする。
- (8) 負傷者は、包帯、サポーター、足袋等を身につけることができる。但し、支柱入りのサポーター、その他相手に危害を及ぼすおそれのあると認められるものについては、この限りではない。
- (9) 外部指導者（コーチ）・部活動指導員は、当該校の校長が認めた者に限る。
- (10) 手・足のつめを端正にすること。

- (11) タオルを準備しておくこと。
 (12) ゼッケンの規定は、次のとおりとする。



- ※ 字画の太さは、1 cm位とする。
- ※ 輪にしないで、まわしにはさむようにする。
- ※ 必ず県名を入れる。
- ※ 下地は単色の布とすること。

◎地域クラブ活動等ゼッケン (例)



3 競技方法

(1) 団体戦

- ① 団体予選 (各県1位チームと他県の2位・3位チームによりリーグ戦) を行い勝率、勝ち点で上位8チームを選出する。もし同率、同点となった時は、代表決定戦を行う。

(3チームの場合、トーナメント法で組合せ抽選)

- ② 上位8チームで決勝トーナメントを行う。

(2) 個人戦

予選リーグを行い、各グループの上位2名が決勝トーナメントに進出する。

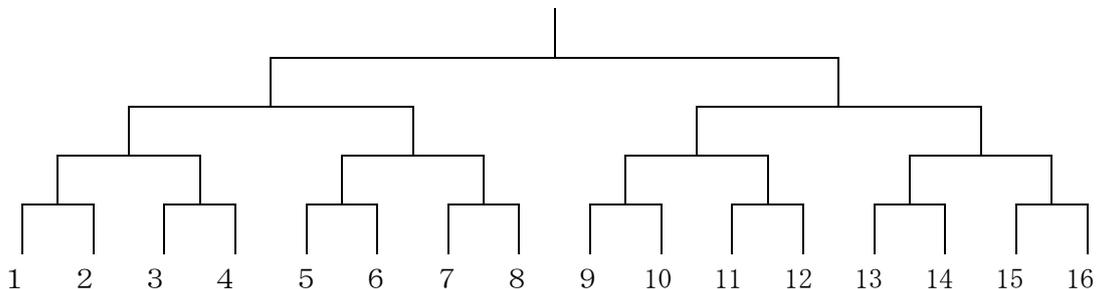
- ① 8グループによる予選リーグを行う。(県名(A~D) - 順位)

aグループ	A-1	B-3	C-6	D-8	eグループ	A-2	D-4	B-5	C-7
bグループ	B-1	C-3	D-6	A-8	fグループ	B-2	A-4	C-5	D-7
cグループ	C-1	D-3	A-6	B-8	gグループ	C-2	B-4	D-5	A-7
dグループ	D-1	A-3	B-6	C-8	hグループ	D-2	C-4	A-5	B-7

※ グループ内で勝率が同じ場合は、決定戦を一度行う。ただし、勝負が決しない場合は、抽選で順位を決定する。

※ 県の事情により、8名以下の出場になった場合は、3名でリーグ戦を行うグループができる。(グループ内で勝率が同じ場合は、上記に同じ。)

- ② 決勝トーナメント (予選リーグ上位2名、計16名)



※ 各グループ1位通過者より抽選を行う。(奇数番号に振り分け) 続いて、2位通過者が抽選を行う。(偶数番号に振り分け)

※ 抽選は、各グループ1位から順番に予備抽選を行い、その後本抽選を行う。各グループ2位についても同様とする。

その他

大会参加申込書提出後の選手の変更は認めない。

【 テ ニ ス 】

1 参加規程

(1) 団体戦

各県男女各2チームとする。各県の団体戦の成績順位で上位2チームを選ぶ。

2 競技規則

(1) 競技規則は現行の日本テニス協会の競技規則及び大会開催要項による。

(2) 使用球は公認球（黄色）を使用する。

(3) ユニフォームは、上はゲームシャツ、下は短パン・膝より上のパンツ、スコート（ショートパンツ）を着用すること。（全国中学生テニス選手権大会の規定に準ずる）

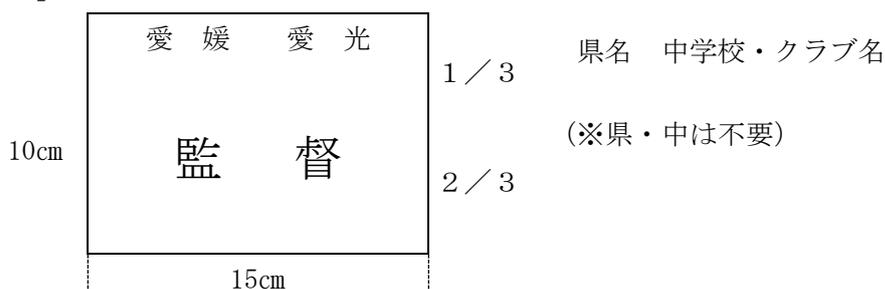
〔注意〕 服装（用具を含めて）の色等は華美にならないようにし、公認メーカーのものを使用する。

(4) テニスシューズを必ず履くこと。

(5) 監督がベンチに入る時は、スポーツウェアを着用し、テニスシューズを必ず履くこと。

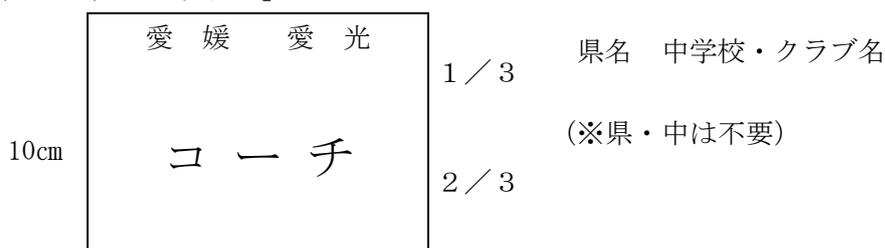
また、監督は胸にゼッケンを付けること。なお、背中のゼッケンは不要とする。

〔監督のゼッケン〕



(6) 外部指導者（コーチ）のベンチ入りを認める。【外部指導者（コーチ）証】を所持すること。

〔外部指導者（コーチ）のゼッケン〕



(7) 選手変更について

団体戦で、申し込み後メンバーを変更し直す場合は、「変更届」を大会本部に提出する。

(8) ハチマキには正面に特別な文言や記号を後から記入もしくは印刷し、使用してはいけない。

ただし、ハチマキの端の部分に「学校かクラブ名・名前」を記入してもよい。帽子・サンバイザーもこれに準ずる。

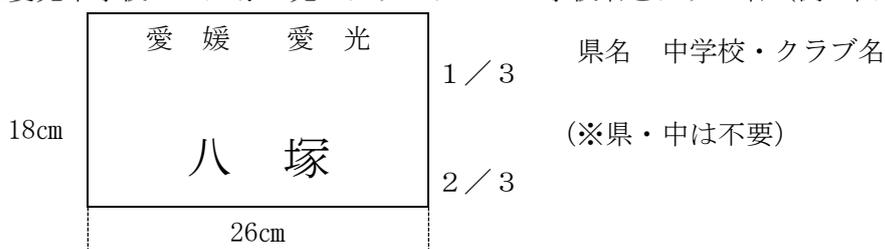
(9) 背中のゼッケンを各校で別の布などで作成し、背中に縫いつけること。着脱しやすいようにホック、マジックテープ、安全ピンで止めることは可とする。

① ゼッケンはB5版横（白地）の大きさの布に県名、学校かクラブ名、姓を記述する。

また、県名の「県」、中学校の「中」の文字はつけないものとする。また、県名と学校・クラブ名の間は空白とする。

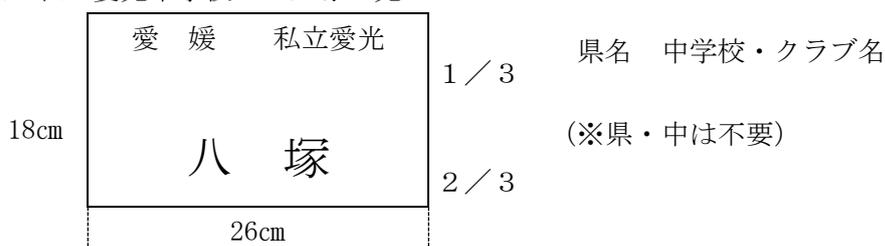
- ② ゼッケンの文字は「漢字」、「ひらがな」、「カタカナ」を使用し、文字色は「黒」とする。
 シャツそのものへのプリントは認めない。

《例1》愛媛県 私立愛光中学校 八塚 光 クラブチーム⇒学校名をクラブ名（例：山田TC）



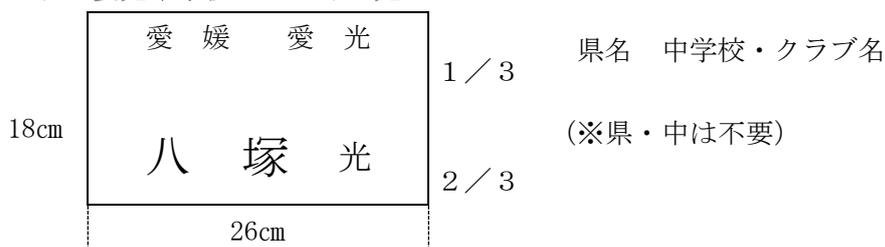
- ③ 県内で同名の中学校がある場合には、区別するために中学校名の工夫をしてもよい。（各地区ごとに望ましい表記をする。）

《例2》愛媛県 私立愛光中学校 八塚 光



- ④ ゼッケンの文字の位置は《例1》どおりとし、同一校に同姓の選手がいる場合には、名前の一文字を付け加える。

《例3》愛媛県 私立愛光中学校 八塚 光



- ⑤ 中学校名が第一・第二中学校や東・西・北・南中学校のような場合には、学校名を分かりやすくするために学校所在地を付記してもよい。

《例4》愛媛県 松山市立南中学校 八塚 光



- (10) 第51回日本中学生テニス選手権大会への出場権は、学校関係の上位校（男子3校、女子2校）になります。テニス競技は、日本中学校体育連盟に加盟できていないためクラブチームの参加はできません。

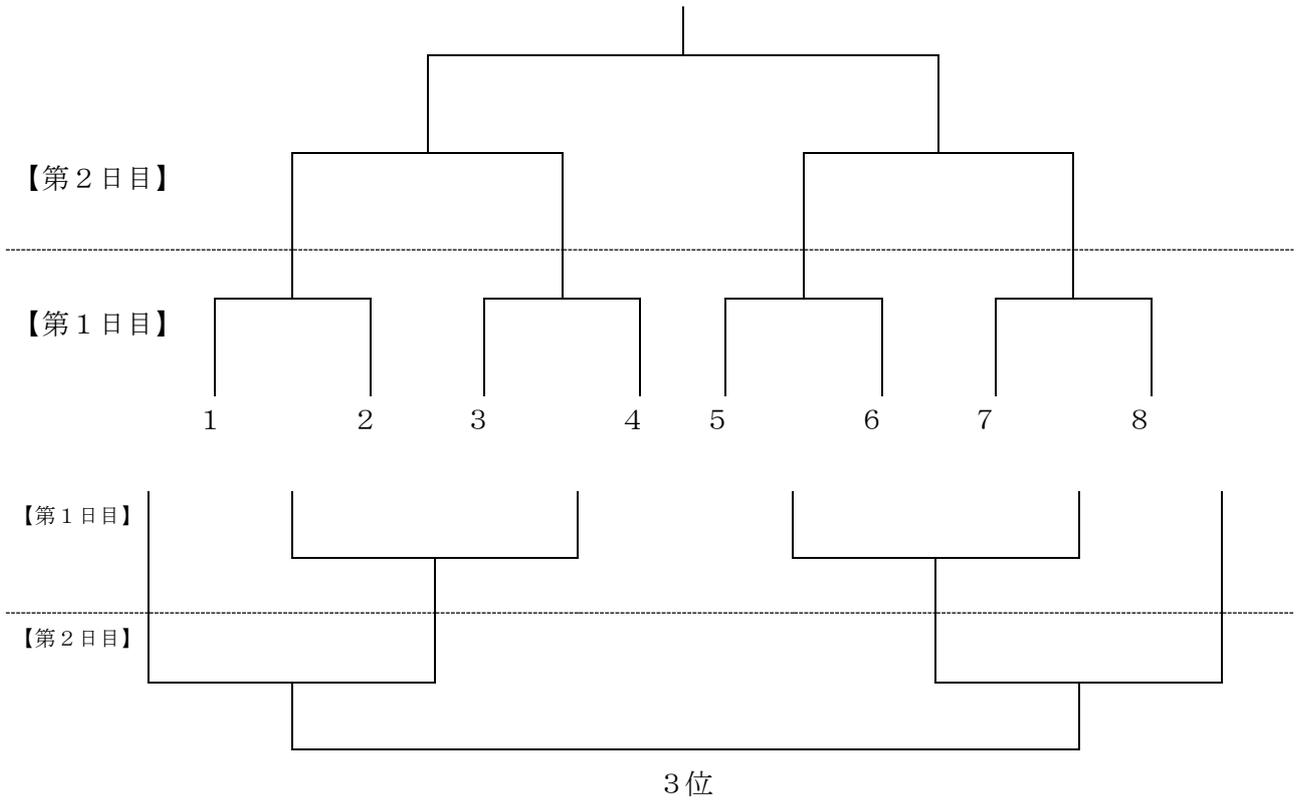
3 競技方法

- (1) 団体戦は各県から選抜された男女各8校（監督1名とシングル3、ダブルス2の選手7名で1チーム編成 登録10名以内）によるトーナメント方式とし、状況によって3位決定戦までを行う。
- (2) 全試合6ゲームズプロセット（6-6後タイブレイク）
- (3) 試合開始時刻は、次のとおりとする。

競技開始 3日 13:30 ~ 4日 10:00 ~

(4) 組合せ

[男子]



[女子]

